

スト破り 当局に

処分の特権はなし!!



動労千葉

85. 12. 6

No. 2111

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六 (公衆)〇四七二二二七二〇七

分割・民営化、十万人首切り攻撃をやめよ

われわれは、11・28/29第一波ストを敢然と闘いぬいた。問答無用で十万人も
の国鉄労働者の首を切り、地獄に叩きこもうとする事への全国鉄労働者のにえ
くりかえる怒りの最先頭で闘いぬき、大勝利した。このストライキに腰をぬかし
た中曽根・杉浦は、完全に錯乱し、「スト参加者の全員解雇」なる前代未聞の凶
暴な弾圧をかけてきている。断じて許せない。第一波闘争を倍する怒りを組織し、
総反撃に起とう。

デマによる首切 りは許さない

十一月二十九日、スト終了後、中曽根
・杉浦は「ゲリラを惹起した動労千葉の
スト」と大反動キャンペーンを張り、
十一月三十日「つばめ」の総裁訓示では、
「違法スト参加者は断固処分」とがなり
たて、十二月四日の毎日新聞に「スト参
加者の全員解雇」と書かせるなど、動労
千葉の組織破壊に向けた凶暴な策動を開
始している。

「動労千葉のストがゲリラを惹起した」
だと。にげ口上はよせ! 権力や当局が
スト破りをやったからゲリラを惹起した
のではないか。

「違法なスト」だと、われわれの団交
要求を拒否し、われわれがストをやらざ
るを得ない状況をつくりだしたのは誰だ。
こんなデマとペテンで処分だと、全員
どころか一人たりとも絶対に許せない。

なぜ、一万の機動隊 が動員されたのか

そもそも権力や当局は、初めからゲリ
ラを想定していたのだ。だから警察は、
スト前に当局に対し「電車を止めないと
責任がもてない」と申し入れていた。し
かし、中曽根・杉浦の決断でスト破りを

決定したがゆえに、十一月二十七日にマ
スコミにウソの情報を流し「81・3スト
のときもケーブル切断のゲリラがあり、
全線ストップした」と二十八日の朝刊に
書かせ、前代未聞の警備体制の正当化を
はかつたのである。当局も「津田沼電車
区に支援が突入する」なるデマ情報を流
し、これに協力してきたのだ。

彼らは、電車区周囲にフェンスを張り
めぐらし、機動隊九千五百、公安も全国
動員し、千葉から東京にいたる沿線警備
に万全の体制をしいたのである。

しかし、なおかつゲリラにやられてし
まったのである。「ゲリラを惹起した動
労千葉」など言いがかりもはなはだしい。

怒りの総反撃に 起とう!

自らの失態をタナにあげ「惹起」など
と全く抽象的なデータラメな理由で労働者
の首を切るなど、どうして許せるか。

一体、スト参加者全員解雇など、いか
なる法的根拠があるんだ。

われわれは、ストライキの成果に動転
錯乱し、自らの失態をおしくすために
のみ行う報復的処分・弾圧を徹底的に弾
効するとともに、さらに断固とした闘い
を配置し、この攻撃を粉碎するため総決
起しよう。